

会議記録（1）

会議名称	令和3年度第2回北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開会及び閉会日時	令和3年11月18日（木） 開会 午後2時00分 閉会 午後3時30分
開催場所	北本市役所 会議室3-E・F
議長氏名	内田千美
出席委員（者）氏名	松田信孝 竹中健司 大野勝生 大屋直之 吉田茂之 根岸京子 三浦貞則 田尻健 渋谷修一 加藤芳雄
欠席委員（者）氏名	土井淳一
説明者の職氏名	行政経営部行政経営課長 佐藤慎也 同企画調整担当GL 高橋良輔 同企画調整担当主任 鈴木裕大
事務局職員職氏名	行政経営部行政経営課長 佐藤慎也 同企画調整担当GL 高橋良輔 同企画調整担当主任 鈴木裕大
会議次第	1 開会 2 議事 （1）第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について （2）その他 3 その他 4 閉会
資料	資料1 第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について 資料2 第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 別紙 令和3年度第2回北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議意見書

会議記録（２）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>ただいまより「令和3年度第2回北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議」を開会いたします。本会議は、北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第4条第2項の規定により、過半数の委員の出席が必要となります。今日は、委員12名中11名に御出席いただいておりますので、会議が成立することを御報告いたします。また、傍聴の希望について、本日はございませんでしたので、その旨御報告いたします。</p>
事務局	<p><b>2 議事</b></p> <p>ここから、議事に入らせていただきます。</p> <p>北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、議長を内田会長にお願いいたします。</p>
議長	<p>(1) <b>第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</b></p> <p>それでは、議事(1)第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【資料1、資料2を基に第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について説明】</b></p>
議長	<p>御意見、御質問はありますか。</p>
大野委員	<p>第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の背景として、コロナ禍において社会増の傾向にあることと、第1期総合戦略のKPIに定められた「『できれば他市町村に移りたい』と思っている若者」の割合が低下していることは分かりましたが、学生をはじめとした若者が転出する傾向そのものは変わらないと思います。今後の取組に向けてどのように分析しているのですか。</p>
事務局	<p>本市の特徴として大都市近郊の住宅都市として人口が増加してきた経緯があるため、市内にバックグラウンドを持つ世帯が少ない上に、市内に高校が1校のみであり、専門学校、大学といった教育機関が無く、若者が進学や就職を機に都市部に転出し、そのまま戻ってこないという傾向が強いことが挙げられます。過去に消滅可能性都市について全国的に取り上げられた際にも、その評価の基準として「20歳から39歳までの女性の人口」により市</p>

会議記録（２）

<p>大野委員</p>	<p>町村の存続可否が議論された経緯もあることから、若者にとって魅力的な地域になるように就労環境の整備等が必要であると考えています。</p> <p>市内に教育機関が少ないという点については、逆説的に言うと高等学校１校、中学校４校、小学校７校とコンパクトな教育環境にあると言えます。その教育環境を活かし、学校や地域の間で連携した教育を進め、児童・生徒の本市への愛着を醸成することで、将来的にＵターン等を希望する人口を増やすことができるのではないのでしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>ただ今に関連して、新たな人の流れの創出に係る数値目標については、第１期総合戦略では「社会増減」としていたところ、第２期総合戦略では「２５歳から３４歳の女性の社会増」と、年齢と性別を限定していますが、どのような意図がありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>若者の社会増を図りたいことに加え、SNS等における若い女性が持つ発信力に着目し、地域の魅力を発見・発信してもらうことで、新たな人の流れやつながりを生み出すことを意図して定めています。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略とありますが、本市の実情に照らすと、「しごと・ひと・まち」という順序での取組が必要だと考えます。本市には若者が好む仕事がなく、そうした仕事は都心に集中しているため、本市の若者が都心近郊に転出してしまう傾向があります。本市は高台にあり水害等の被害を受けず、鉄道沿線にも緑が豊かな住みよい土地ですが、何はともあれ仕事があれば住む人が集まりません。仕事があれば人が集まり、人が集まれば住む人のためにまちのインフラが整備されると考えます。</p>
<p>議長</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は国の示した名称に合わせていることもあると思いますが、意見を踏まえて戦略内容への記載を検討してください。ほかにありますか。</p>
<p>渋沢委員</p>	<p>議事と重ならない部分もあると思いますが、意見として申し上げます。現在雇用調整助成金等を担当している立場から雇用に関する情勢を見ていくと、新型コロナウイルス感染症の影響により、職種間で乖離が大きいものの、中小企業では人手不足感の高まりが問題となっています。また、働き方改革が進み、魅力ある職場づくりを行う観点から就労環境の整備を進めています。今後、ハローワークでは埼玉県と共同で本市では初となる就職面接会を開催</p>

会議記録（２）

<p>竹中委員</p>	<p>する予定があり、本市とも共同で雇用対策等を進めている状況です。</p> <p>生産年齢人口の減少が社会活力の低下に直結する懸念があることはよく分かりました。新たな人の流れとつながりの創出に関する数値目標について、第１期総合戦略では市全体の社会増としていたものが、本戦略では若い女性の社会増に限定してしまうと、生産年齢人口の減少への対応を図る目標とズレが生じないでしょうか。</p> <p>また、K P Iで観光入込客数の増加を目指していることから北本駅の平日の運行本数については維持ではなく上昇を目指すことが必要だと思います。しかし、市の取組で必ずしも上昇を見込めない指標であることから、K P Iとしての位置付けが難しいと考えますが、それぞれどのように整理されているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>２５歳から３４歳の女性の社会増を図る意図は、若者の社会増を図りたいことに加え、SNS等における女性が持つ発信力に着目し、地域の魅力を発見・発信してもらうことで、新たな人の流れやつながりを生み出すことを期待するほか、現在この層を本市のシティプロモーションの「重点アプローチ対象」とする検討を行っていますが、そのこととの整合を図るためです。また、北本駅の平日の運行本数については、本市の魅力である利便性に優れた住環境等を維持する意図で設定しています。方向性にこれらの意図が分かる記載を行います。</p>
<p>竹中委員</p>	<p>若者、特に女性が人口動態の鍵となっていることは理解できますが、生産年齢人口の減少による社会活力の低下を懸念するのならば、２５歳から３４歳までの女性の社会増減を０にするのではなく、全体としては社会増を図ることが本質的な解決につながるのではないのでしょうか。あくまで意見として申し上げます。</p>
<p>議長</p>	<p>これまでの意見を参考に戦略案への記載を検討してください。ほかに何か御意見、御質問はありますか。</p>
<p>各委員</p>	<p><b>【なし】</b></p>
<p>議長</p>	<p>会議終了後において意見等ありましたら、１１月３０日（火）までに事務局へ連絡をお願いします。</p> <p>そして、令和４年１月に予定するパブリック・コメント手続へ向けて、委</p>

会議記録（２）

	<p>員の皆さんから出された意見については、この間の会議開催の予定がありませんので、私と事務局とにおいて整理した上で反映し、総合戦略案を作成させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p><b>【了承】</b></p>
議長	<p>それでは、そのように進めます。</p>
議長	<p><b>(2)その他</b> それでは続いて、議事(2)その他について、委員の方から何かありますか。</p>
各委員	<p><b>【なし】</b></p>
議長	<p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p><b>3 その他</b></p> <p>ありがとうございました。本日御審議いただいた内容と、11月30日（火）までに頂く御意見を踏まえ、12月の令和3年第4回市議会において市の総合計画である第五次総合振興計画後期基本計画の議決を頂いた上で、会長と調整をさせていただきながら、パブリック・コメント手続に付す総合戦略案を作成いたします。</p> <p>パブリック・コメント手続につきましては、令和4年1月に実施し、市民の皆様から御意見を頂きます。そのことを反映した総合戦略案について、令和4年2月ごろに再度本会議において皆様に御審議を頂きまして、最終的に策定したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、11月30日（火）までに御意見を頂く場合は、机上に配布しました別紙「令和3年度第2回北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議意見書」に御記入いただき、同様に配布した封筒により御提出いただくほか、メール等による場合は、メール本文に御意見を御記入いただき、御提出くださいますようお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>4 閉会</b></p> <p>本日は、長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。これをもちまして、令和3年度第2回北本市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了いたします。誠にありがとうございました。</p>